

目標達成計画

作成日：平成 29 年 1 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念は昔の職員により作られたものを現在の理念として掲げており、一度見直しを行い全職員が初心に帰り共通の認識の下で介護を行っていく必要がある。	現在の制度や地域性、グループホームの特性を考慮して、理念の見直しを行うことができる。	年度末で行う職員会議で現在の理念について考える時間を作り、必要があれば修正を行う。	3ヶ月
2	6	夜間の転倒防止のために、御家族了承のもとサイドレールの設置をしているが書類に不備があった。書類の整備を行い拘束廃止に向けた協議が必要。	毎月の職員会議で最低でも月に1回は協議する場を作る。そして、廃止に向けた前向きな意見交換を行うことができる。	身体拘束についてももう一度学び直し、事業所が丸となって廃止に向けた取り組みを行っている。職員会議の場で協議した記録をまとめる書類を用意する。	1ヶ月
3	8	成年後見制度や日常生活自立支援事業を活用している方が複数おられるが、家族や来客者に対する情報提供ができる環境が整備できていない。	管理者だけではなく介護員も尋ねられたら説明ができるようになる。事業所の入り口付近やエレベーター内にポスターやパンフレットを設置することができる。	誰でも制度について説明ができるように指導も行うが見ながら説明ができるように説明書も用意しておく。事業所の入り口付近やエレベーター内にポスターやパンフレットを設置するために包括支援センターに情報を提供していただく。	6ヶ月
4	37	定期的に地域に協力を求めた避難訓練を実施しているが、平日の実施では仕事をしている方の参加は難しい。また消防署の方にも立ち会って頂いているが、曜日や週の指定があるため休日の実施の調整が困難。さまざまな災害におけるマニュアルが不十分である。	避難訓練を休日に実施して一人でも多くの地域住民に参加していただく。災害における、各種マニュアルを整備することができる。	運営推進会議の場で避難訓練の際に協力していただくことの重要性を話し合う。また、地域行事や清掃により積極的に参加して地域へ貢献をする。災害時にどう動くかを具体的に記したマニュアルを作成し職員に周知する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。